

平成29年度 大阪府立りんくう翔南高等学校

第1回学校協議会の記録

日時 平成29年6月29日(木) 14時30分～16時30分
場所 大阪府立りんくう翔南高等学校 プレゼンテーションルーム

次 第

1. 校長挨拶

21世紀を強く思い遣りのある生徒を育てよう。

学校の近況について、体育祭終わり、明日より期末テストが始まる
就職講座も始める。

校長ブログ(野球部大阪大会の選手宣誓、レスリングインター杯出場)

2. 委員紹介

<協議会委員> 林田氏、大里氏、野村氏、田中氏、若狭氏、岡崎氏

<事務局>

藤田、池田、佃、田中、井内、紺谷、岩出、若狭、明山、津村、石橋、溝、堀内、楠本、山入

3. 今年度の取り組みと現状報告

①昨年度授業アンケート結果と目標(校長)

わかる授業を実施し、子供たちの充実した学校生活をサポートする。

年2回実施。教員の主観ではなく、子どもたちの客観的な評価を授業改善に生かす。

低下している項目については改善が必要と考える。

②進路状況(進路主事:田中)

6期生の状況

- ・進学について 専門学校70名(昨年より10名減る)

コツコツする生徒が多く、京都産業大学・追手門大学合格などの結果が出た。

看護は、正看7名合格、准看4名合格 あきらめずコツコツ頑張った生徒が多かった

- ・就職について

求人数増えている

- ・現在の進路希望調査

3年生は、去年よりも目標が高い(関西外国語大学など)

③生徒の状況、平成29年度指導目標等(生徒指導主事:紺谷)

遅刻指導、携帯電話の指導等に力を入れている。

- ・遅刻集計 4、5月1063回(昨年比 減) 昨年は平均1人11.7回

今年は7000回以内を目標

- ・服装頭髪指導、再登校指導、一斉指導、などを行っている。

厳しい指導をしていると感じている。

④PTA事業計画(総務:岩出) 説明

⑤体育祭について（生徒会：明山）

当日前夜大雨、朝グラウンドの水はけをした。1時間遅れでスタート
今年はムカデ競走を増やし、学年を縦割り
現在の生徒会メンバーは積極的な生徒が多い。

⑥各学年主任現状報告

・1年（石橋）

定員割れの学年なので心配したが、意外と落ち着いてスタートできた。
授業は割とおちついていて、クラブ加入者が多い。
この学年から保育コースがあり、現在希望者も出ている。
学力の開きはあるが、宿題などコツコツして、自習もしている。
ベネッセ実力テストでB3以下はサポートをする予定
修学旅行は、11月に宮古島へ。民泊など。

・2年（溝）

北海道修学旅行について 2泊民泊、3日目に小樽へ。体験活動（釣り、）
穏やかな雰囲気だった。規律を守り、安心できた。
生徒は満足していた。帰ってくるとすぐ期末考査
2年生になって遅刻欠席が増えている。

・3年（堀内代理 教頭） 就職・進学に向けて頑張っている。

⑦平成28年度学校協議会委員評価

生徒たちは数年前より落ち着いている。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1 確かな学力の育成 | 学力面は、進学に力を入れていく。生徒・教員の意識改革。 |
| 2 思いやりの心を育てる | 年々精神的に幼くなっている。 |
| 3 心安らげる学校づくり | 生徒たちは楽しく登校してきている。 |

4 協議について

① 平成29年度 学校経営計画について（校長）

<めざす学校像> 知識技能だけではなく、問題解決力の育成へ。

アクティブラーニングを軸に、魅力ある授業展開へ。

インクルーシブ教育 障がいのある子どもも含めた一人ひとりの出口を保障する
外部講師を招いて、ミドルリーダーの育成。

今年度は、授業改善（考える授業、参加する授業）を目指す
部活動を活性化させ、学校を活性化させる。

② 学校経営計画支援について 施策の提言等

・野村氏の提言

自身の海外留学の中での経験から、挨拶は大事と感じた。挨拶すればよい印象をもってもらえる。
7月実施の通学路清掃において学校の周りを掃除するだけでなく、地域の人への「挨拶」活動もして
みてはどうか。人として、大きな声で挨拶をできる人になってほしい。中学校では挨拶運動をして
いる。先生の方から生徒に挨拶をしてほしい。挨拶をしさえすれば、遅刻や懲戒等も減ってく

るのでは。

・岡崎氏の提言

知識技能中心から問題解決型へ。生きる力。グローバル人材の育成。社会人基礎力。

これらの一連の言葉は、社会とどう繋がるのか？

問題解決・・・自分の目の前の課題をどう解決するのか

生きる力・・・どう生きていくのかを自身でつくる力

グローバル・・・今後グローバル化していく世界でどう生きるのか。

高校生が社会で生きていくうえで、どうコミットするのか。

具体的な取り組みがないので示してほしい。

りんくうという名前の重み、関空に近い。関空祭り等にりんくう翔南が全面に出てほしい。

地の利を生かしてほしい。

→田中の返答

グローバル体験・サマーキャンプを計画 今年7月に留学生の受け入れ（アメリカの高校生）

2年前レスリングの交流試合、本校生徒が観戦・昼食 等を行っている。

・林田氏の提言

校内のスマホは禁止しているのか→授業中・集会等は禁止している（紺谷）

スマホを授業で生かすことについてはどうか。

・田中氏の提言

生徒が将来泉南地域に残ることを前提に、3年間をどう過ごすか。それを前提に進路指導してほしい。地域に根差す指導。

たとえば、2年間専門学校に行ってその後どうするのか？→泉南地域に戻る

本校の就職実績はいい企業ばかりなので進学ばかりではなく、地域を意識した指導を

→校長の返答

グローバル化が進むなかで、近い将来多くの仕事がコンピュータに奪われることが予想される。

その中で生きていくことのできる力を持つ生徒を育てていかなければならないと感じている。

→田中の返答

本校生徒は外に出るのが苦手なので、外に連れ出すのが目標

一度連れ出した生徒は、いい反応を示すことが多い。

5 校長謝辞（校長）

6 諸連絡（教頭）

第2回 10月18日（水）14時30分～